

新議長・副議長に聞く

5月13日の臨時市議会で、議長に山崎雄史議員、副議長に辻本達也議員を選出しました。昨年からの検討を続けてきた議会基本条例の制定を9月に予定するなど、議会の活性化が進められている中、議長・副議長としての抱負や、市議会の今後について聞きました。

さらなる議会活性化を

議長として取り組みたいことは。

地方分権時代の今、二元代表制の一翼を担う市議会の果たすべき役割と責任は、より一層重要性を増しています。これまでも分権時代に対応した市民本位の市議会を確立するため、議会活性化に取り組んできましたが、今後もさらに力を入れた取り組みを行ってまいります。

まずは、議会基本条例素案について、8月から9月にかけて市民意見の最終公募や市民フォーラムを実施し、9月定例会での制定に向けて条例素案を仕上げていきます。また5月に設置した中心市街地再整備等特別委員会では、明石駅前再開発など中心市街地の活性化について議論を行っ



議長 山崎雄史
平成15年(2003年)初当選、現在3期目。副議長、文教厚生常任委員長、生活文化常任委員長、決算審査特別委員長など歴任。

ています。そのほか、広く市議会を理解してもらえよう市議会だよりを今号から毎号8ページとし、全議員の議案の賛否を掲載するなど、これまで以上に充実した情報を発信していきます。

時には「ノー」を突き付ける

市長と市議会との関係についてどのように考えますか。

市長と市議会が対立しても何も生まれてくるとはありませぬ。しかし、お互いの関係を良好に保つためには、



議長として臨んだ6月定例会

時に議長として「ノー」を突き付ける必要があるという覚悟をしています。議論し、調整すること、対立を避け、安定化につなげていきたいと考えています。市長も市議会も市民のために活動するという目的は同じであり、お互いに補い、協力しながら市民のために全力を尽くしていきます。

議長、副議長の役割

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は、対外的に市議会を代表する立場にあり、議場の秩序を保ち、議事を整理するなどの権限が与えられています。副議長は、議長が病気などで不在の場合に、議長の代わりを務めます。

各議員が宣伝媒体に

市民に対するメッセージを。

市議会の活動をより広く伝えるために、議会報告会を開催するなどの取り組みを始めました。今すぐに市民の理解を得ることは難しいと思いますが、各議員が宣伝媒体となり、市民と接していく中で、市議会に興味を持ってもらえるように努めていきます。

今後とも、市民の信頼に応えるため、誠心誠意努力していきます。

将来を担う子どもたちのために

今年度、重点的に行う「子ども」施策について教えてください。

子どもは将来を担う宝であり、子どもの健全な育ちを支えることは、あらゆる世代の成長とまちの活力の創出にもつながります。ふるさとへの愛着心を持ち、明石を支える存在になってくれることを願い、さまざまな取り組みを行っています。

この7月からは本市に暮らす子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう、保護者の所得制限を設けず、中学生までの医療費を無料化しました。また、子どもたちが遊びや勉強など、さまざまな体験を積み重ねていくことで、より豊かに成長していけるよう、天文科学館などの公共施設の子どもの利用料も無料化しました。

開かれた議会をめざす

市民に対するメッセージを。

本市が取り組むべき



副議長 辻本達也
平成15年(2003年)初当選、現在3期目。監査委員、生活文化常任委員長、文教厚生常任副委員長、決算審査特別副委員長など歴任。

課題は山積しており、問題の解決を図るためには、市民の力が必要です。

議員一人一人が研さんを積み、議員としての資質を高めていく中で、市議会として市民の意見にしっかりと耳を傾け、活発な議論を展開していかなければなりません。

今後とも、公正かつ透明で、市民に分かりやすく、開かれた議会運営に努めていきますので、より一層のご支援と、ご協力をお願いします。